

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立常磐小学校

校長名 鬼頭 利成

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 常磐の「ひと・こと・もの」から学び、常磐のよさを語り、自分たちができることを提案する「常磐小版ぎふMIRAI's」を構築する。 教育DXを推進し、授業や校務でのICT機器の有効活用を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間を中心に、施設の訪問や講師の方から話を聞き、地域のことを学び、得た情報を発信することができた。 授業や校務でICT機器を活用する機会が増えた。さらに効果的な方法を学び活用するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域にいるいろいろな分野のプロ(アマ)の人材を学校に招けるとよい。 地域の資源は豊富な地域だと思う。発掘、活用する努力を続けていくとよい。 英語の授業は、担任に加え、ALTやイングリッシュボランティアが入り、楽しく英語に触れる環境がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間(常磐小版ぎふMIRAI's)を中心に、体験的な活動を継続し、新たな地域の資源、人材の発掘に努め、地域を学び、発信につなげていく。 ICT機器の有効な活用方法を交流し、日頃から、お互いに学び合いより効果的な方法を見出していく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムの充実に向け、幼保小の連携を深めるとともに、幼保から小中まで児童理解に務め、円滑な接続を図る。 コミュニティ・スクールのより効果的な運営・実施を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 幼保職員の授業参観、意見交流会を行い、児童理解に役立てることができた。 校区中学校とは、授業参観等を行い、交流ができた。 ふれあい活動を中心に地域との関わりを持たせた。 	<ul style="list-style-type: none"> フリー参観を実施するなど、地域に開かれた学校を目指してほしい。 あいさつを通して、児童と地域の人々との交流ができた。大人からも率先してあいさつをしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼保、中との職員間の交流を深め、一層の児童理解に努める。 地域と学校とのつながりを深め、児童の学び、体験につながる活動を検討する。
あたたかさ働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学年担任制・教科担任制を通して、全教職員での全校児童の理解、指導支援の充実を図る。 職場の対話を増やし「問い」を生み出す同僚性の醸成を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年担任制・教科担任制を通して、児童理解、指導支援にあたり、全教職員で関わっていく体制ができてきた。 児童の指導支援や教員の専門性の向上につなげるためにも、さらに職員間の連携を深めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの目で子どもたちを見ることはとても良いことだと思う。 教師の得意を笑顔に変える、教師のやりがい、教師からしか味わえない学びを実現してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 緩やかな学年担任制、教科担任制を継続し、チームとして全教職員で児童と関わる体制づくりを継続する。 指導方法、教材、児童理解など、さまざまな視点において職員間の対話を増やし、連携を深める。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな状況に対して自分で考えて行動できる児童の育成を図る。 「常磐小学校いじめ防止基本方針」に基づき、迅速かつ適切な対応をするとともに、「相手を思う」(生命尊厳・相手理解)ことにつながる学びを進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 多様な条件下で命を守る訓練やシェイクアウト訓練を行ったことで、その場の状況に対応する力が備わりつつある。 アンケート等で情報収集し、「いじめを見逃さない日」を利用して、個々に考える時間をもち、いじめ防止に向け、対応を進めた。保護者アンケートでは、90.6%が取り組んでいるとの回答であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 命を守る訓練を定期的に行っている。いろいろな時、場所、状態による「命」の守り方を学んでほしい。 防災訓練を地域と一緒にできるとより実践的な訓練になりそう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、自分の命を守れる児童の育成を目指し、命を守る訓練等をより多様で実践的な訓練として実施していく。 いじめ防止に向け、日頃からの啓発を行うと共に、事案に対して迅速に組織的な対応を進める。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検等を確実にを行い、危険箇所、修繕箇所の発見に努め、修繕や要望書提出により、安心安全な教育環境をつくる。 複数での確認を行い、適切な財務処理を進める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、「教育環境整備に努めている」との回答が78.6%であった。また、「集金等の事務を適切に行っている」との回答が96.8%であった。 随時、修繕対応を進めているが、老朽化している部分があり、継続して環境づくりに努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全のためにも地域の見守り隊の組織を再整備していきたい。 危険が伴う時、場所の環境整備を迅速、適切、判断し進めてほしい。(いじめへの対応も) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適切な財務処理を進める。 事務手続き等、複数の確認を実施し、確実に遂行していく。 安心安全な環境を生み出すため、随時、修繕や要望書により、整備を進める。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/tokiwa-e/>